

令和4年度自己評価結果公表シート

作成 幼稚園型認定こども園

太平寺幼稚園

1、本園の教育目標

未来社会を生き抜く心身共に豊かな人間性の基礎を養い基本的生活習慣を身につける。

- ・楽しい集団生活の中で一人ひとりの健全な心身の基礎を培う
- ・基本的生活習慣・態度を育て、豊かな心情や思考力を培い、意欲や思いやりのある子どもを育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

より良い幼児教育を目指すために教職員間で次のことについて共通理解を図る。

- ・協働的な組織運営を行い、教育・保育の質の向上を図る。
- ・保育環境の充実を図る。
- ・保護者や地域へ保育内容を発信することを通して、幼稚園教育への理解を図る。
- ・子どもの安全を図る。
- ・特別支援教育の充実を図る。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
協働的な組織運営を行い、教育の質の向上を図る。	園内研修を通して、園の子どもたちの現状から根っこの課題を読み取り、教員間で共有することにより、園の課題の共通理解が育まれつつある。さらに、教員間で各クラスの状況を把握する中で子どもの育ちや互いの保育を支え合う風土を醸成し、教育・保育の質を高めていきたい。
保育環境の充実を図る。	今年度も子どもたちが主体的に環境に関わり、資質・能力を育てていくために、子ども理解に努め、保育環境の充実に努めてきた。さらに、幼児期は身体や感覚が育つ時期でもあるので、それらが育つ環境の充実を図りたい。
保護者や地域へ保育内容を発信することを通して、幼稚園教育への理解を図る。	幼稚園通信やブログ、ドキュメンテーションなどを使って、子どもの育ちや教育の意図を丁寧に説明することを行い、幼稚園教育への理解を図ることを目指している。今後はICT化などを進めて、負担なく発信していくことが出来るように環境を整備していきたい。
子どもの安全を図る。	感染症の感染防止と共に交通安全教室や防災訓練などを行い、子どもや保育者、一人ひとりが自主的に動くことが出来るように安全への意識を高めてきた。さらに、バスの置き去り防止や園外保育での安全確認のマニュアル作りを行った。子どもの安全を図るために様々な知見を学んで活用していきたい。
特別支援教育の充実を図る。	誰もが充実した日々を過ごすために特別支援教育の充実を図っている。専門機関と連携して支援を行う中で、子どもの姿を大切に保育計画を立てる事が出来た。この経験を生かして、一人ひとりの特性にあった保育を行っていきたい。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員での共通理解が出来つつあります。それぞれが自己評価する中で、意識も高まり、これからの取り組みを具体的にしていく計画性が出来ています。今後は協働的な組織運営が出来るように園内研修等通して教職員の資質の向上を図っていくことが必要です。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
子どもの安心安全を図る。	子どもの身体的にも心理的にも安全が守られるように職員研修を充実していく。様々な知見から学び、安全計画の見直しを行う。避難訓練などを通して、子どもの安全教育を充実させる。
保育環境の見直しと充実を図る。	基本的な感染対策を行いながら、子どもたちが対話的・協働的な学びが出来るような環境を保障していく。遊びを通して子どもの資質・能力が育まれる環境作りを研究する。特に今年は運動感覚や五感が育つような環境作りに力を入れる。
ICT化により保育の質の向上を	ICT化により業務の軽減を図り、保育の質を向上させる。ブログやポートフォリオなどを通して教職員は子ども理解を深めながら保護者や地域の方に保育や子どもの育ちを発信していく。同時に保護者支援に繋げて行く。
乳幼児保育への理解を深める。	0～5歳の育ちを繋げるためにその土台となる乳幼児保育への理解を深め、0歳からの非認知能力を育む保育を学び、保育環境を充実させていく。

6、学校関係者の評価

コロナウイルスの感染防止を行いながら様々な工夫を凝らして保育を行ってきた。最近では不適切な保育や子どもの置き去りや食事中の事故などが問題になっている。様々な知見から学び、子どもの安全・安心に繋がる保育を行って欲しい。又、コロナ後の保育については、基本的な感染防止を行いながらも、子どもの豊かな育ちに繋がる保育を行うが大切である。その他は特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。